

準備しておきたい非常 持出品は？

非常持出品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持出品と、災害から復旧するまでの数日間を支える備蓄品を分けて用意しておきましょう。

非常持出品～災害発生時に最初に持ち出すもの～

■懐中電灯

できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに(発電式のものもある)。

■携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。最近では手動で充電できるものや、携帯電話の充電ができるものなどがあり便利。



■非常食・水

缶詰や乾パンなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。



■貴重品

多少の現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。公衆電話を利用するための10円玉も。



■救急医薬品

消毒液、体温計、傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬などのほか、常備薬があれば必ず用意する。



■その他

マスク、ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど。



備蓄品～復旧するまでの数日間を支えるもの～

■食料品

缶詰やレトルト食品など非常食3日分を含む7日以上を備蓄。高齢者や子ども、アレルギー体質者など配給される食事をとるのが難しい家族がいる場合には、その事情に合った食料を多めに準備。

■水

飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安で、7日分は用意する。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利。

■燃料

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど。

■感染症対策

マスク、体温計、アルコール消毒液、ビニール手袋、スリッパなど。

■工具

ロープ、ボール、はさみ、のこぎり、ジャッキ、スコップなど。

■その他

簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、シート、照明器具、筆記用具、予備のメガネなど。

※備蓄品は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。



準備をしておかないと
どうなる？

大規模災害が発生した場合、水道施設などが使用できなくなったり、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐにできないおそれもあります。災害発生後の数日間は自足できるよう準備しておきましょう。



非常持出品チェックリスト

品 名	点検日記入欄	品 名	点検日記入欄
☐ 非常食		☐ ナイフ、缶切り、栓抜き	
☐ 飲料水		☐ ティッシュ (ウェットタイプも)	
☐ 携帯ラジオ (予備の電池)		☐ タオル	
☐ 懐中電灯 (予備の電池・電球)		☐ ビニール袋	
☐ ヘルメット・防災ずきん		☐ 上着・下着	
☐ 救急医療品		☐ 軍手	
☐ 常備薬		☐ シート	
☐ 貴重品 (預貯金通帳、印鑑など)		☐ マスク	
☐ 現金		☐ 消毒液	
☐ 健康保険証のコピー		☐ 体温計	
☐ 住民票のコピー		☐ 携帯充電器	
☐ ろうそく・ランタン		☐ モバイルバッテリー	
☐ ライター (マッチ)		☐ 口腔ケア用品	

備蓄品チェックリスト

品 名	点検日記入欄	品 名	点検日記入欄
☐ 食品 (缶詰、レトルト食品、ドライフーズなど)		☐ ラップ・アルミホイルなど	
☐ 食品 (調味料、スープ、みそ汁など)		☐ ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど	
☐ 食品 (チョコレート、あめなど)		☐ マスク、アルコール消毒液、スリッパなど	
☐ 水 (1人あたり1日3リットル、7日分)		☐ 体温計	
☐ 燃料 (卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)		☐ 予備のメガネ、補聴器など	
☐ 毛布、タオルケット、寝袋など		☐ 工具類 (ロープ、ボール、スコップなど)	
☐ 洗面用品		☐ 使い捨てカイロ	
☐ 鍋・やかん		☐ 簡易トイレ	
☐ 簡易食器 (わりばし、紙皿、紙コップなど)			

こんな用意もしておきましょう

■乳幼児のいる家庭

ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、洗浄器、おぶいひも、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼ、授乳ケープなど

■妊婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、洗浄器および新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など

■女性

生理用品、目隠し用ポンチョ、化粧水等、携帯用ビデオ、カップ付インナーなど

■要介護者のいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など